

江戸時代中期の諸産業

17世紀後半以降の1世紀の間（江戸時代中期）に、小規模な経営を基礎とする農業やその他諸産業で、生産力が著しく発展した。この時期に登場した特産品は今なお存在し、例えば野田の醤油や京都の西陣織が著名である。この知識は各地をめぐる際にも役立つため、「地名—特産品」の組合せは覚えておきたい。

○ 農業生産の進展

● 農業

< 商品経済の浸透 >

幕府や諸藩は、都市での年貢米販売で貨幣収入を得るとともに、

(1) _____ の生産を奨励して収入の増大を図った。

⇒ 村々で桑・楮・麻・綿花・菜種などの(1)が盛んに生産された。

◇ 1643年の田畑勝手作りの禁は、ほぼ有名無実化（1871年廃止）

◇ 四木三草…幕府や諸藩が重視した商品作物の総称

…四木（茶・桑・楮・漆）三草（麻・藍・紅花）



風土に適した特産物も全国各地に生まれた。

⇒ 駿河・山城宇治の茶、阿波の(2) _____、最上地方の(3) _____、

薩摩（琉球）の黒砂糖、三河・河内の綿花などが有名であった。



図1 茶

図2 紅花



図3 藍

< 農書（17～19世紀） >

次のような農業技術を教える書籍（農書）が普及した。

『清良記』…栽培技術や農業技術を説く日本最古（17世紀前半）の農書

『(4) _____』…17世紀末、(5) _____ が著した体系的農書

『(6) _____』…19世紀、(7) _____ が農具の用法を図解した農書

『(8) _____』…19世紀、(7) が経済発展に合わせた農業経営を説く農書

< 農具 >

狭い耕地での集約的な農業に合わせ、次のような農具が登場した。

(9) _____ …従来の風呂鍬に替わる深耕用の鍬

(10) _____ …脱穀用の農具

(11) _____ …籾殻と塵芥を風力で外に飛ばす選別用の農具

(12) _____ …穀粒の大きさによって振り分ける選別用の農具

ふみぐるま 踏車…灌漑用の小型揚水車

風呂（木製）

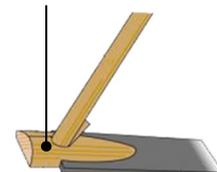


図4 風呂鍬



図5 備中鍬



図6 千歯扱



図7 唐箕



図8 千石筥

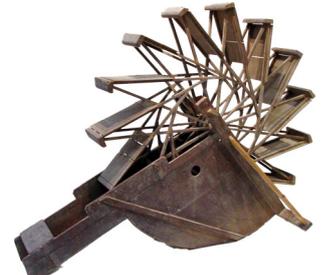


図9 踏車

<肥料>

耕地の開発が進み、刈敷が不足した。

⇒都市周辺部では下肥しもごえが、商品作物の一大生産地では⁽¹³⁾ _____ が普及した。

◇(13) …金で買われる、干鰯ほしか・鰯粕しめかす・油粕あぶらかす・糠ぬかなどの高い栄養効率の肥料の総称

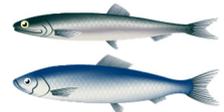


図10 イワシ・ニシン

●漁業

各地で、漁場の開発と漁法の改良が進んだ。

⇒釣りによる土佐の⁽¹⁴⁾ _____ 漁、地曳網じびきによる九十九里浜の⁽¹⁵⁾ _____ 漁、

網もりや錨いかりによる紀伊・肥前・長門などの捕鯨、松前のにしん 鯨 漁があった。



漁獲された鰯や鯨は干鰯・鰯粕に加工されて⁽¹⁶⁾ _____ として売られた。

⇒また、昆布あわびや⁽¹⁷⁾ _____ (代表：干し鮑あわび・いりこあわび・ふかひれ)は、

17世紀末以降に銅にかわる清向けの輸出品となった。



図11 干し鮑 図12 いりこ



図13 ふかひれ

●製塩業

瀬戸内海沿岸を中心に入浜塩田が発達し、塩の生産がおこなわれた。

●織物業

麻織物として、近江の麻や奈良の⁽¹⁸⁾ _____、越後の⁽¹⁹⁾ _____ があった。

⇒綿織物として、日本国内でも生産が拡大し、三河・河内の木綿があった。



当初、高級な絹織物は京都⁽²⁰⁾ _____ で⁽²¹⁾ _____ という技術を用いて織られた。

⇒後に、上野⁽²²⁾ _____ ・足利をはじめ、各地でも (21) で生産されるようになった。



図14 奈良晒



図15 金襴(左)・緞子(右)



図16 高機

●工芸品

17世紀前半、肥前⁽²³⁾ _____ で生産を始めた磁器は、長崎貿易の主要な輸出品となった。

◇木などに漆を塗り重ねる工芸品の漆器では、⁽²⁴⁾ _____ 塗・輪島塗わじまぬりが有名

●醸造業

<酒造>

⁽²⁵⁾ _____ ・⁽²⁶⁾ _____ ・⁽²⁷⁾ _____ が銘酒の産地として有名になった。

<醤油造>

醤油しょうゆは西日本で早くから造られたが、後に全国でも大量に生産された。

⇒関東では⁽²⁸⁾ _____ ・⁽²⁹⁾ _____ の醤油が有名である。



図17 野田の醤油